

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 2日(火) 19時 ~ 21時		
市町村名	松川村	グループ名	2班
要旨			
	このような会が計画にどのように反映するのか作る方向で進んでいくのか。中止ということもありえるのか。		
	道路はどの程度の規模なのか。		
	片側2車線の道路のようだ。		
	計画は賛成。高速道に変わる計画で後生までのこして行きたいと思う。		
	県民を重視したこのような会を含め県政が住民に聞かれてきた。国、県ともに財政が厳しい中で道路を作る必要があるか。豊科インターが出来ても地元への経済効果が得られなかった。山沿いを通す案もあると思うが、環境を破壊してまで道路を作るべきなのか。国道、県道2本があるのに、まだ道路が必要なのか。		
	松川以外の地区にも目を向けて関係地域にとってメリットがあるのなら作っても良いと思う。		
	将来を見据えて、議論をすべき。今の松川の交通網は昔の構造改善事業によってなり立っている。ルート検討については十分行うべき。あまり節制的に考えるべきではない。		
	松川以北の広域的な視野から道路を作るべき。		
	20~30年後にはアジア諸国との交流が日本海側から行われると思う。その時に道路は必要ではないか。1時間で日本海側と行き来できるなら、例えばガソリンも安くなるのではないか。現在の減反等を考えると道路が通ることによって休耕田等の処理につながるのではないか。		
	松川の環境の保全の方が大切ではないか。		
	この道路が村民にとって必要性のある道路なのか。主要3道路があれば不要ではないか。山麓沿いに道を通す計画があるが、扇状地を破壊してまで作る必要はない。		
	観光客の視点からすると環境破壊して整備した道路を利用し、安曇野の自然を観光するのはまちがっているのではないか。		
	環境破壊にすぐ結びつけるのはどうか。環境に配慮した道づくりも可能ではないか。道路を作ることによって税収面等。メリットもあるのではないか。		
	仮に池田側に道路が出来れば後で後悔をするのではないか。		
	道路により交通の便が良くなる。運送業務の恩恵は大きい。		
	道路が出来ると現在の道路の管理はどうなるのか。維持管理に伴う負担増があるのではないか。莫大な借金(税金)を後生に残すのはいかなるものか。新しく道路を作るのではなく、既存の物を充実させることで効果が得られるのではないか。県全体を見て南信方面にも目を向けるべきバランスの良い政策を取ってもらいたい。		
	白馬以北が必要性が高いのではないか。		
	小谷村に国道を拡幅するか、新道が必要だと思う。		
	広域的な視野で議論することは大切なことだと思う。道は日常生活で不可欠なものなので後生のことも考えると整備すべきだ。		
	山麓沿いに住んでいるが、現道路の交通量が減るだけでも作るのにメリットがある。		
	統一意見が出る雰囲気でもないのに今後続ける意味があるのか。		
	この道路は国営公園とリンクしているのか。		